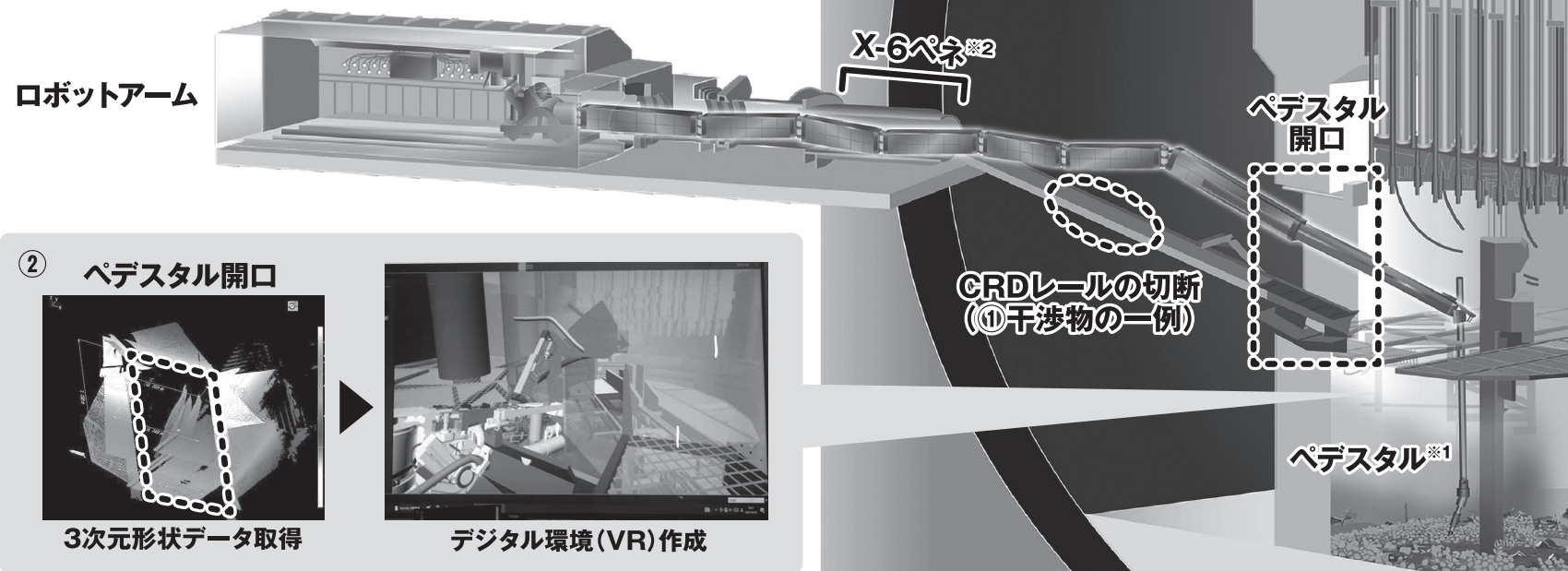


福島第一原子力発電所の廃炉の現状と取組みをお伝えします Vol.60

福島第一原子力発電所の放射性物質によるリスクを継続的に低減する「廃炉・汚染水・処理水対策」の取組みについてお知らせします。「復興と廃炉の両立」に向けて、廃炉を安全かつ着実に進めてまいります。

10月2日から、2号機でロボットアームを使った「原子炉格納容器(PCV)内部調査のためのアクセスルート構築※」を実施しています。ロボットアームが動作不良となった場合は、アームを回収し動作確認を行うなど、安全最優先で作業を進めてまいります。※PCV内の干渉物除去

■ロボットアームによるPCV内部調査のイメージ



※1.原子炉圧力容器を下部から支える、配筋をコンクリートで覆った筒状の構造物 ※2.原子炉格納容器に通じる作業用の貫通孔

【2号機PCV内部調査・試験的取り出しの作業工程】

▼現在

アクセスルート
構築

3次元形状
データ取得

デブリ
採取

映像
データ

γ線
線量

中性子
カウント

約6カ月

●内部調査の目的は以下の3つです。

- ▶干渉物を撤去し「ロボットアーム」を進入させる「アクセスルートの構築」(左図①)
- ▶規模を拡大して燃料デブリを取り出す装置の設計と作業計画の妥当性確認に活用するため「PCV内部の3次元形状データや映像等の取得」(左図②)
- ▶デジタル環境(VR等)を活用した「完全遠隔オペレーション作業の実証」や、高線量環境下での長期間使用による「装置の実証」



原子炉格納容器内部調査についてはこちらをご覧ください
▶[2号機 PCV内部調査・試験的取り出し作業の状況]
https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2026/d261001_23-j.pdf



2号機における取組みについてはこちらをご覧ください
▶[燃料デブリポータルサイト]
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/fuel-debris/?nuclear02&investigation6>



ロボットアームについてはこちらをご覧ください
▶[ロボットアームの遠隔操作訓練]
https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=107299&video_uid=15781

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22